



●女子高等師範學校

女子教育の發達に伴ひて

女教員の需要は日に益々多きを加ふるを以て、この急を救ふ爲め同校に於てはこれまで、私費國語漢文、地理歴史、家事の三專修科を置て年々卒業生を出し夫々地方に赴任せしめられしが、今回更に私費國語體操專修科を設置し、主として高等女學校等に於ける國語體操科の教員を養成せらるると云ふ、募集人員は三十名、入學志望者は品行方正身體健全にして、修業年限四ヶ年の官公立高等女學校卒業生、若くは之と同等の學力を有し、年

齡十七年以上三十年未滿にして夫を有せざるもの

由、本年三月二十日まで願書を差出さば四月

上旬試験の上入學を許可せらるべしといふ。▲同

校教諭藤堂忠次郎氏は久しく附屬高等女學校の教

授に熱心盡力せられしが、今回新設の兵庫縣明石

女子師範學校長に任ぜられ、先月二十三日を以て

當地を出發せられたり▲同校教授野口保興 岩川

友太郎の兩氏は女子教育視察の爲め先月中旬都、

大阪、三重、和歌山、兵庫、岐阜、岡山、廣島、

徳島、香川、愛媛の二府九縣へ出張を命ぜられた

り。

●各學校の開始と生徒募集 追々新學期の始ま

るにつけ、其他の各女學校は夫れ々入學生徒を

募集し、又新に開始するもの多し、其主なるもの

を擧ぐれば

▲東京府第一高等女學校 同校は本年四月より淺草七軒町の新校舎にて、授業開始の答にて、本年募集の生徒は第一學年に約百二十名第二第三學年に各約八十名にして入學願書の差出期限は本月二十迄 入學試験は現校舎にて施行、其期日は左の如しとなり。

第一學年 三月三十日

第二學年 三月三十一日

第三學年 四月一日

但し試験初日は各學年とも午前七時に出校すべしとのこと。

▲日本女子大學校生徒募集 同校にては、本年四月新學期開始に付、家政、國文、英文の三學部各一年級、英文學部豫科一、二年級、并に附屬高等女學校一年級より五年級まで、各級に入學を許可するよし、申込期日は三月二十日なるが、申込の順序を以て入學を許可すべきに付、豫定人員に達すれば、期日内と雖ども願書を受けざるべしとのことあるべしと云ふ。

▲日本淑女學校の創立 昨年以來本郷千駄木町に建築工事中なる日本淑女學校は、最早大部の工事も進行したるを以て、來る四月初旬開校すべしと云ふ。

▲東京女學校 鳥尾子爵の統轄に係る下谷黒門町の東京女學校は今回本郷區駒込千駄木町右田子爵邸内二千餘坪を借り受け、新築に着手したるが來る三月下旬には竣工の豫定にて、技藝專修科裁縫教員養成科、并に三ヶ年の研究をも併置する由。

▲愛敬女學校 赤坂檜町なる同校は、此程大改革を行ひ新たに

久保乾太郎氏校長となり講師を増聘し寄宿舎を設け、女生徒の入學を許す由。

▲體操學校女子部の認可 日本體育會體操學校にては、女子小學體操教師養成の目的を以て同校に女子部を設置したき旨申請中なりしが、此程文部大臣より認可せられたるに付き、愈四月一日より開始する豫定。

▲家事科講習會 家庭改善の先導者を養成し、兼ねて文部省檢定試験に應ずる者の、爲めに設けられたる成女學校内同會は、今回第二期生を募集し、二月一日より新學期を開く、授業時間は毎週十五時間以上なりと云ふ。

●大日本割烹學會 石井泰次郎氏主任として専ら盡力せらる、京橋區鈴木町十一番地の同會は、愈隆盛の由なるが、その規則は左の如くなりと。

◎本教場は割烹學校假教場として本會所定の各學科を實修せしむるを以て目的とする

- 學科
- 本科 日用惣菜、諸菜切方、交際料理、茶事懷石、支那料理、西洋料理、儀式料理、献立仕方
 - 別科 日用惣菜、茶事懷石、交際料理、支那料理、西洋料理、諸菜切方

◎補修科 本科卒業業者ノ爲ニ設ク學科ハ各